

令和3年度探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業の取組

本校独自版

8月25日

学習指導案検討(第5学年 総合的な学習の時間)

これまでの町や県の研究推進地域事業研修を受けて、2学期校内授業研である5年生の総合的な学習の時間の指導案検討を行いました。

1回目の4学年の授業提案を受け、総合的な学習の時間の指導案の型を校内で統一し、指導案を作成しました。ここでは、校内全員で指導案の「単元の評価規準」、「単元のルーブリック」の部分を実際にグループごとに考え作成してみました。実際にグループに分かれて考えて作成することにより、これまでの指導案検討と比べて、より自分事として考えることができたのではないかと感じました。また、先生方の声には、「この前の西指導主事の言われていたことが、今日分かった。」ともあり、第2回町推進協議会で東部教育事務所西奈那子指導主事の指導講話の内容理解が進んだことも実感しました。

なかなか、一人でルーブリックを作成するとなると、悩んでばかりで進みにくいことが多いのですが、みんなで協議しながら作成することにより、いろいろな考えが出されたり、自分が指導案を作成するときの参考になったりと充実した時間となりました。



みんなの研修の成果!

まずは、
やってみる!

7 本校で育てようとする資質・能力

課題発見力	課題を設定し、解決する方法を考えている。
課題解決力	よりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。
振り返り力	学んだことを自己の生き方につなげて振り返っている。

8 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
		課題発見力・課題解決力	振り返り力
単元の評価規準	①誰もが暮らしやすい町の実現に向けて、多様な問題の解決に向けて、人や組織と目的を共有して取り組むことが必要であることを理解している。	① 神石高原町の子ども達や高齢者、障がいをもった方の困り感から課題を設定し、解決する方法を考えている。(課題発見力)	① 疑似体験やインタビューなどの調べ学習の振り返りを通して、自ら設定した課題の価値に気付き、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。
	②地域の現状や人々の思いや願いを捉えるための調査を、対象に応じた適切な方法で実施している。	② 神石高原町の子ども達や高齢者、障がいをもった方の現状を捉えるために必要な情報について多様な方法の中から効果的な手段を選択している。	② 福祉の観点から「だれもが暮らしやすい町」の実現に向けて自他の考えを生かしながら協働して取り組もうとしている。
	③神石高原町を暮らしやすい町にすることと自分達との関わりについての理解は、探究的に学習していること	③ 収集した情報を比較・分類することで「だれもが暮らしやすい町」につながる	③ 神石高原町の小さな子どもや高齢者、障がいをもった方とよき生活

9 単元におけるルーブリック

A	B	C
「だれもが暮らしやすい町」づくりにつなげるための活動についてよりよい考えを検討し、相手や目的に応じて効果的な表現をしている。	「だれもが暮らしやすい町」づくりにつなげるための活動についてよりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。	「だれもが暮らしやすい町」づくりにつなげるための活動についてよりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめることができない。